

## \* 歯周病のお話 \*



- ② 3歳以上の動物の80%が歯周病を持っているといわれています。歯周病に関しては、いくつか間違いやすいポイントがあります。そこで、日ごろ質問の多いポイントを、“間違いやすいデンタルケア”としてクイズ形式でご紹介します。

各問の答えに、Yesなら○、Noなら×をつけてください。

- ①歯の上をガーゼで磨いていれば大丈夫？ ( )
- ②歯周病が進んでいても、元気・食欲があれば大丈夫？ ( )
- ③無麻酔で歯石除去をするだけで良い？ ( )
- ④動物病院での歯の処置をすると、麻酔して歯を抜かれる？ ( )
- ⑤歯を抜いたら今までのご飯を食べられない？ ( )
- ⑥売っているデンタルケアグッズならどれでも良い？ ( )
- ⑦歯をきれいにするために、骨・ひずめなどの硬いものもいい？ ( )
- ⑧眼の下が腫れているけど皮膚病？ ( )
- ⑨乳歯は放っておけば抜ける？ ( )

正解は、全て×です。いかがでしたでしょうか？

それぞれの問題に対して少し解説していきます。

- ① 歯の表面がきれいになっても、歯周ポケットの汚れが残ると歯周病が進行していきます。ガーゼだけでは歯周ポケットの汚れはとれません。
- ② 歯周病はジワジワと進行して行きます。元気・食欲のあるうちから予防・治療することが大切です。
- ③ 無麻酔での処置は、動物に対して恐怖と痛みを与えることとなります。
- ④ 病院での治療は、歯を抜く事が目的ではなく、歯周病という顎が破壊される病気を食い止めることが目的です。状況によっては歯を抜く事が必要なこともあります。
- ⑤ 通常、歯を抜いても問題なくフードを食べる事ができます。
- ⑥ 市販されている物の多くは、「歯の汚れをとる」もので、歯周病の予防・治療にはならないことがあります。
- ⑦ 硬いものを噛むことで歯を折ってしまうケースがあるので、与えるべきではありません。
- ⑧ 歯の根っこに膿みがたまり、それが眼の下の皮膚を破ってでてくることがあります。
- ⑨ 乳歯が抜けない事で、永久歯がうまく生えられず、歯並びがわるくなってしまいます。

以上の点について簡潔に解説しましたが、歯のことで気になる事がある場合、一度ご相談ください。